

3・11 福島へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2012年2月10日

No. 2

Tel 050-3036-6464

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

「3・11福島行きます」「東電を逮捕しろ」 受験生から続々と怒りの反応!

●法大入試展開が大高揚

2月5日より始まった法大入試情宣で「何で東電の連中は逮捕されないんだ!」「後の世代にも同じ悲劇を繰り返さない」「原発の隣りに住めますか?」「原発いらない」といった反応が受験生から次々と寄せられている。また福島出身の受験生が親子で署名するという事態も生まれている。

そして何より、ついに福島の受験生から「3・11に行きます」という反応が生まれてきていることが決定的だ。

あくまで原発再稼働を狙う野田政権に対する怒りは日に日に高まっている。やればやるほど結合できる情勢である。

「受験中だから・・・」という日和見主義をぶっ飛ばし、ストレートに「原発は許せない!」と訴えることがカギだと言うことがこの入試情宣の中でつかみとった教訓だ。

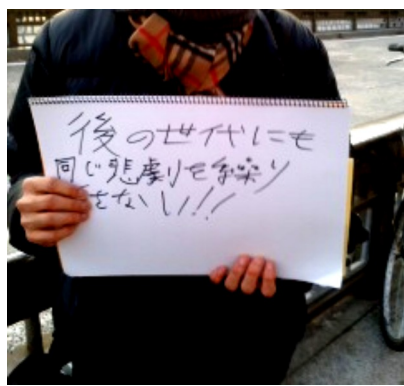
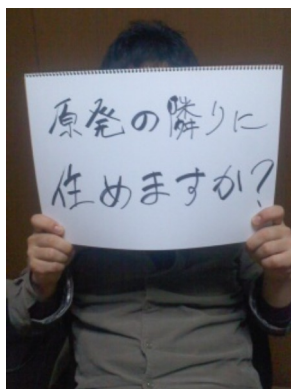
受験生とのさらなる結合を勝ちとり、3・11に大結集しよう!



●法大当局による監視・盗撮許すな!

「半径200メートル情宣禁止」仮処分を強行しておきながら、法大当局の弾圧職員は連日飯田橋駅前に登場し、駅前の我々の情宣を監視し、ビデオ撮影を行うという暴挙を行ってきている。これが大学の「業務」だとでもいうのか! まさしくこうした連中こそ原発を54基作ってきた下手人そのものだ。(事実、東電には通称TCIAなる弾圧機関が存在している)

弾圧職員吹き飛ばし、
3・11から4月法大集会へ!



「再稼働阻止!全原発廃炉」に向けて、みんなで参加しよう!

原発いらない! 3/11県民集会

【要項】 **3月11日(日) 福島県郡山市・開成山球場**

13:00~オープニングコンサート 15:00~デモ

※夕方から全国学生集会やります!

経産省前で300人が抗議集会 大飯原発「妥当」判断弾劾！

2月8日、大飯原発ストレステストに関する「意見聴取会」が経産省で行われた。前回はい俳優の山本太郎さんを先頭に徹底弾劾の闘いが打ち抜かれ、最後は傍聴者を暴力的に排除して「妥当」判断が下された。

追いつめられた経産省は今回、「混乱を避けるため」と称して事前登録と身分証提示がなければ傍聴をさせないという暴挙に手を染めた。さらには「意見聴取会」を行っている会場には傍聴者は入れず、別室で「テレビ中継」を見るだけという度し難い対応を行った。まさに密室裁判そのものだ。

これに対して急遽駆けつけた労働者・学生・市民300人が経産省前で徹底弾劾行動に立ち上がり、「再稼働やめろ」「傍聴させろ」と怒りの声を叩きつけた！

全学連は倉岡雅美さん（法大）を先頭に傍聴闘争に決起！
前回同様、岡本孝司（東大教授）の司会で行われた「意見聴取会」は再稼働を強行するための茶番そのものであったが、井野教授・後藤教授から「ストレステストは数値のみを考えて出されており、非線形領域（想定を超える部分）を考えていない。」「ストレステスト第二次評価書を出さずに妥当と判断するのは再稼働のためそのもの」といった重要な追及が行われた。

最後は岡本が一方向的に質問を打ち切り、傍聴者から徹底弾劾が叩きつけられた。



京大で御用学者・岡本孝司を徹底追及！

1月31日、京都大学で御用学者弾劾の闘いが打ち抜かれた！

大飯原発ストレステストで「妥当」判断を下した東大教授・岡本孝司が高温ガス炉プラント研究会の定期講演会で京都大学に来たことに対して、京大生が追及行動に決起！

講演会の中止と京大が原発再稼働に賛成か反対かを問う申し入れ行動を行い、そして現場では岡本を取り囲んで「ストレステストの結果に責任は取れるのか！」と追及を行うと、岡本は「経産省の判断だ」「次は安全な原発を作ればいい」などと許しがたい開き直りを行い、最後はタクシーに乗って逃げる始末。結果に責任をとらない御用学者の腐敗した姿が完全に浮き彫りになった。

キャンパスから全ての御用学者を叩き出そう！

